

防犯専門官 山田 英明

**飲酒運転撲滅**  
飲酒運転は絶対しない、  
させない、許さない！  
そして、見逃さない！

毎年福岡県では1000件以上もの飲酒運転の検挙があり、平成18年に海の中道大橋で飲酒運転による悲惨な死亡事故があったにもかかわらず、未だ飲酒運転は後を絶ちません。

飲酒運転は犯罪です。飲酒運転事故の悲惨さや責任の重さについてしっかりと心に留めておきましょう。

「飲酒運転をしない！」

●飲酒の正しい知識を身に付ける

飲酒の知識 その1

アルコールに強い人も、脳はマヒしています。自分では酔った自覚がなくても悪影響

があります。  
・気が大きくなり、危険な運転をする  
・感覚がマヒし、車間距離の判断を誤る  
・危険の察知が遅れる など

飲酒の知識 その2

仮眠してもアルコールは分解されません！

ビール中ジョッキ1杯のアルコール処理時間は、体重60キログラムの人で約4時間もかかります。さらに個人差もあるため、仮眠しても体内に残っていることもあります。



入浴、サウナでアルコールの分解は早まりません！

アルコールの90%は肝臓で処理され尿や汗での

排出は10%未満というデータもあります。また、飲酒後の入浴は脱水症状を加速させ健康にも良くありません。

●飲酒運転厳罰化と行政処分の強化

平成19年に飲酒運転厳罰化がなされ、平成21年には行政処分も強化されました。

状態	罰則	行政処分
酒酔い運転	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金	免許取り消し 欠格期間 3年
酒気帯び 0.25mg/l以上	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	免許取り消し 欠格期間 2年
酒気帯び 0.15～0.25mg/l	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	免許停止期間 90日

●飲酒運転に関わった人も処罰されます

同乗者、車の提供者、酒の提供者など、運転者だけでなく、飲酒運転に関わった人も処罰されることがあります。

●飲酒習慣スクリーニングテスト

現在の飲酒習慣が適切か、アルコール依存症のスクリーニング(分類)テストでチェックし、飲酒習慣を見直しましょう。

http://www.police.pref.fukuoka.jp/kotsu/kotsu\_kikaku/063.html



「飲酒運転をさせない！見逃さない！」

●福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例

この条例は飲酒運転のない、安心して暮らせる社会を目指して制定されました。この条例では、全ての県民の皆さんは  
・家族や知人が飲酒運転を行うおそれがあるときは、その防止に努めなければならない

・飲酒運転を見かけたときは、警察官に通報するよう努めなければならない  
・など規定されています。運転者だけではなく地域社会全体で問題に取り組み、飲酒運転を撲滅することが大切です。

「飲酒運転を許さない！」

・ハンドルキーパーを確保する  
・飲酒した翌日はアルコールが残っていないか確認する  
・飲酒運転は犯罪であることを意識し、お互いに注意し合う

など、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない！そして、見逃さない！」ために、運転する自分自身はもちろん、まわりの人も正しい知識を持って飲酒運転撲滅を心がけましょう。

